

# Cisco AnyConnectセキュアモバイルクライアントのDoS脆弱性



アドバイザリーID : [cisco-sa-anyconnect-dos-55AYyxYr](#) [CVE-2021-1450](#)  
初公開日 : 2021-02-24 16:00  
最終更新日 : 2021-04-14 16:14  
バージョン 1.2 : Final  
CVSSスコア : [5.5](#)  
回避策 : No workarounds available  
Cisco バグ ID : [CSCvw29572](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

## 概要

Cisco AnyConnectセキュアモバイルクライアントのプロセス間通信(IPC)チャンネルにおける脆弱性により、認証されたローカルの攻撃者が、該当デバイスでサービス妨害(DoS)状態を引き起こす可能性があります。この脆弱性を不正利用するには、攻撃者はデバイス上に有効なクレデンシヤルを持っている必要があります。

この脆弱性は、ユーザ提供による入力の不十分な検証に起因します。攻撃者は、該当デバイスのAnyConnectプロセスに1つ以上の巧妙に細工されたIPCメッセージを送信することで、この脆弱性を不正利用する可能性があります。エクスプロイトに成功すると、攻撃者はAnyConnectプロセスを停止し、デバイスにDoS状態を引き起こす可能性があります。

注：攻撃を受けているプロセスは自動的に再起動されるため、ユーザや管理者による操作は必要ありません。

シスコはこの脆弱性に対処するソフトウェアアップデートをリリースしています。この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザリーは、次のリンクより確認できます。

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-anyconnect-dos-55AYyxYr>

## 該当製品

脆弱性のある製品

公開時点では、この脆弱性は次のシスコ製品の4.10.00093より前のすべてのリリースに影響を与えました。

- Windows 用 AnyConnect セキュア モビリティ クライアント
- MacOS 用 AnyConnect セキュア モビリティ クライアント
- Linux 用 AnyConnect セキュア モビリティ クライアント

最も完全で最新の情報については、このアドバイザリの上部にあるバグ ID の詳細セクションを参照してください。

## 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

このアドバイザリの[脆弱性のある製品セクションに記載されている製品のみが、この脆弱性の影響を受けることが分かっています。](#)

シスコは、この脆弱性が Apple iOS、Android、およびユニバーサルWindowsプラットフォーム用のCisco AnyConnectセキュアモビリティクライアントには影響を与えないことを確認しました。

## 詳細

この脆弱性は、攻撃者がローカルシステムでアクションを実行するためにエンドユーザデバイスのローカルクレデンシャルを持っている必要があるため、リモートから悪用することはできません。

## 回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

## 修正済みソフトウェア

[ソフトウェアのアップグレード](#)を検討する際には、シスコ セキュリティ アドバイザリ ページで入手できるシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、侵害を受ける可能性とアップグレードソリューション一式を確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成が新規リリースで引き続き正しくサポートされていることを十分に確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center ( TAC ) もしくは契約しているメンテナンスプロバイダーにお問い合わせください。

## 修正済みリリース

公開時点では、Cisco AnyConnectセキュアモビリティクライアントリリース4.10.00093以降にこの脆弱性に対する修正が含まれています。

最も完全で最新の情報については、このアドバイザリの上にあるバグ ID の詳細セクションを参照してください。

## 不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team ( PSIRT ) は、アドバイザリで説明されている脆弱性に対して概念実証段階の 익스プロイト コードが入手可能であることを認識しています。

このアドバイザリで説明されている脆弱性の悪用に関する情報は Cisco PSIRT に寄せられていません。

## 出典

シスコは、この脆弱性を報告していただいたSecure Mobile Networking Lab(TU Darmstadt)の Gerbert Roitburd氏に感謝いたします。

## URL

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-anyconnect-dos-55AYyxYr>

## 改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.2	修正済みリリース情報を追加。	「要約」、「脆弱性のある製品」および「修正済みリリース」	Final	2021年4月14日
1.1	WindowsおよびMacOSの情報を更新。	「該当製品」、「脆弱性のある製品」	Interim	2021-FEB-25
1.0	初回公開リリース	—	Interim	2021年2月24日

## 利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンド

ユーザを対象としています。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。